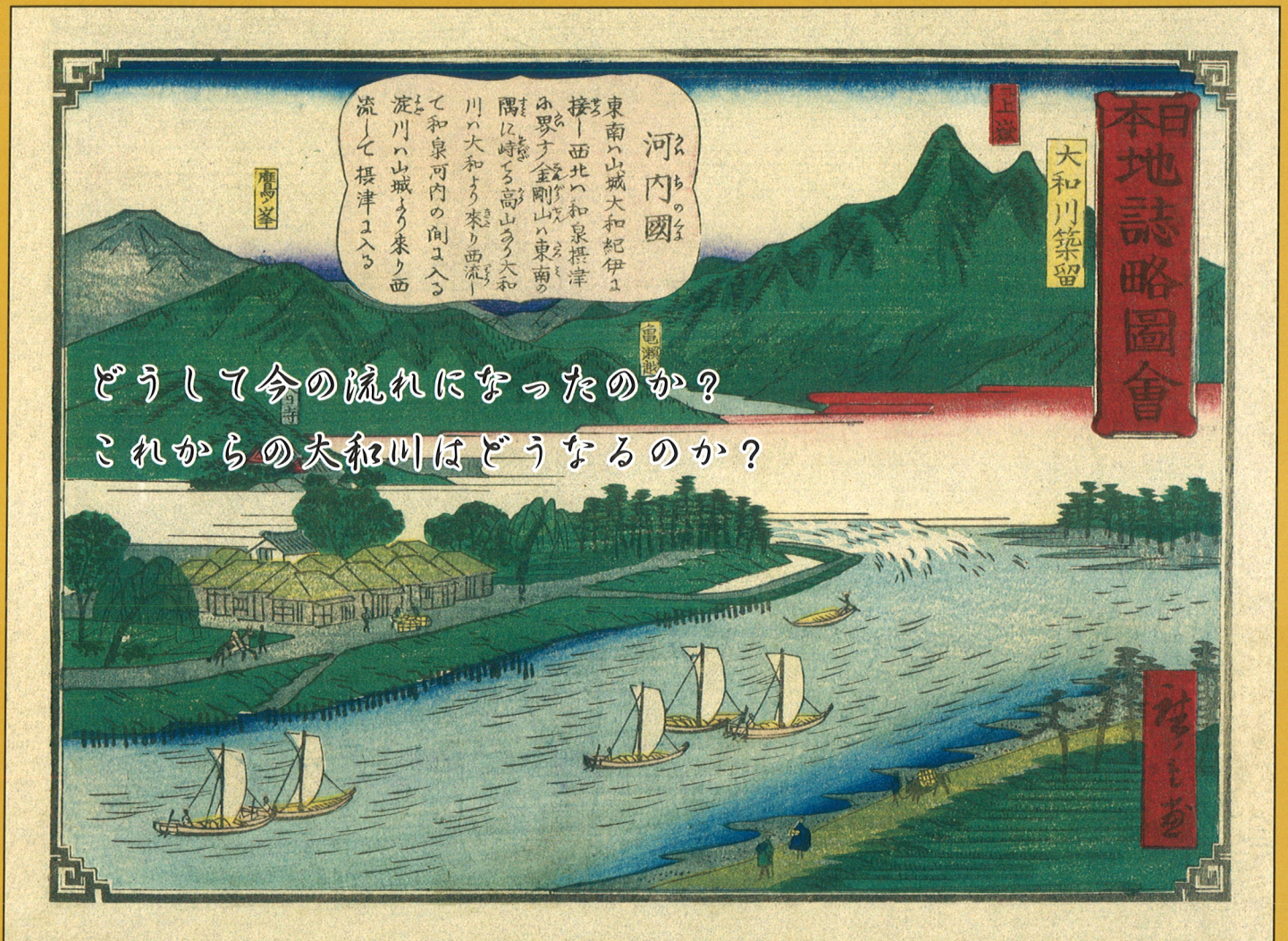


2010年9月21日(火)~12月12日(日)

大和川はどこへ・・・



どうして今の流れになったのか？
これからの大和川はどうなるのか？

『日本地誌略図會』に描かれた「大和川築留」

同時開催

『大和川の生き物たち』

大和川釣り人クラブによる写真展示

史跡高井田横穴特別公開

2010年10月16日(土)

10時~15時 申し込み不要

休館日 月曜日

開館時間 9:30~16:30

入館料 無料

交通

JR大和路線高井田駅から徒歩5分

近鉄大阪線河内国分駅から徒歩15分

柏原市立歴史資料館

大阪府柏原市高井田1598-1

電話 072-976-3431

やま と がわ 大和川はどこへ・・・

大阪や奈良の人たちにとっては身近な大和川ですが、みなさんは大和川の川原で遊んだことがあるでしょうか。むかしとくらべるとずいぶんよごれてしまいましたが、最近^{さいきん}は少しずつ水がきれいになり、いろいろな生き物も見られるようになってきました。

大和川の歴史^{れきし}をふりかえってみると、むかしの大和川は、なんども洪水^{こうずい}をおこしながら、豊かな大阪平野^{へいや}をつくってきました。そのころの大和川はどこへ流れていたのでしょうか。そして、今から300年ほど前、洪水^{こうずい}をくりかえす大和川は、つけかえられることになりました。大和川は、どうして今のような流れにつけかえられたのでしょうか。このごろは、少しずつきれいになってきた大和川。これからの大和川はどうなっていくのでしょうか。大和川はどこへ・・・。

大和川のつけかえ

つけかえまでの大和川は、久宝寺川^{きゅうほうじがわ}（長瀬川）、玉櫛川^{たまきしがわ}（玉串川）など何本かの川に分かれて北または北西に流れ、大阪城の北で、もとの淀川^{よとがわ}（大川）に流れこんでいました。しかし、大雨になると堤防^{ていぼう}がつぶれたり、堤防から水があふれたりして、なんども洪水^{こうずい}をおこしていました。そのため、大和川のつけかえを求める運動^{うんどう}がはじまるようになりました。その運動の中心となった人物^{じんぶつ}が、今米村^{いまごめむら}（今の東大阪市）の中甚兵衛^{なかじんべえ}です。

しかし、みんながつけかえを望んでいたのではありませんでした。つけかえに反対^{はんたい}する人たちもたくさんいたのです。新しい川ができると、こまる人たちもたくさんいたのです。反対する人たちもいたため、つけかえはなんども計画^{けいかく}されながら中止^{ちゅうし}されていました。そして、とうとうつけかえることが決まりました。つけかえ工事^{こうじ}は宝永元年^{ほうえいがんねん}（1704）の2月にはじまり、10月には新しい大和川が完成^{かんせい}しました。工事は幕府と大名^{ぼくふ だい}がぶんとんして行いました。甚兵衛^{じんべ}も、川のこと、水のことをよく知っているということで、つけかえ工事に協力^{きょうりやく}しています。

甚兵衛^{じんべえ}は、つけかえをお願いした文^{ぶん}や、洪水^{こうずい}のあった場所^{ばしょ}を記録^{きろく}した地図^{ちず}など、さまざまなものを残^{のこ}してくれています。それらは、甚兵衛^{じんべえ}の子孫^{しそん}の方々^{かたがた}によって、たいせつに残^{のこ}されてきました。展示^{てんじ}では、これらの資料^{しりょう}をお借^かりしてならべています。大和川のつけかえを物語^{ものがた}るたいせつな資料^{しりょう}です。



つけかえ前の大和川

どうして今の流れになったのか？

大和川つけかえのとき、新しい川のルートはいくつか考えられていましたが、最後には今のよう
な流れに決まりました。どうして今のよう流れにつけかえられたのでしょうか。

大和川がつけかえられたところを築留つきどめといいます。堤防ていぼうを築いて（つくって）川の流れをとめた
からです。実は、つけかえ前の大和川は、この場所ばしょで少しせまくなっていたのです。そのため、こ
こでつけかえられたのだと考えられます。そして、今の大和川は、できるだけ地面じめんを掘らずにつく
られています。地面を掘るのはとてもたいへんなことだったので、できるだけ掘らずにつけかえる
ことができる場所を考えて、今の流れに決まったのです。また、水がうまく流れるように、できる
だけまっすぐに流したいと考えていたようです。そのために、川をつくる前に地面の高さをはかる
など、正確せいかくな測量そくりょうが行われていました。たまたま今の場所につけかえられたのではなかったのです。

このようにしてつくられた大和川は、川の幅はばが 180 m、長さ 14.3 km もある大きな川となりました。

つけかえ後の大和川

もとの大和川は、川の幅はばが 100 ~ 200 m もありました。そして、つけかえ後は、小さな川だけ残し、
川原かわらは田や畑として生まれ変わりました。これを新田しんでんといいます。新田では綿わたがたくさんつくられ
ました。ところが、新しい大和川の近くでは田畑たはたを失った人たちがたくさんいました。洪水こうずいがほ
りやすくなったところもありました。このように、いろいろとこまったことがおこりました。つけ
かえは、決していいことばかりではなかったのです。

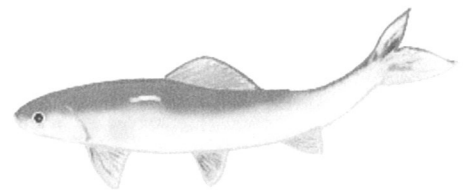
また、大阪おさかと奈良ならの境にある亀かめの瀬せでは、地すべりがなんどもありました。もし地すべりがほ
こってしまうと、大和川はせきとめられて奈良盆地ならぼんちは湖うみとなり、やがてその水が大阪におしよせてき
て、大きなひがいがでると予想よそうされます。そのため、地すべりをとめるための工事が行われていま
す。この工事こうじ中に、昭和6年（1931）の地すべりでつぶれたと考えられていた鉄道てつどうのトンネルが残
っていたことが最近さいきんわかりました。これも、人々と大和川の関係かんけいを示すたいせつな資料しりょうです。

50年くらい前までの大和川は、魚をとったり、泳いだりできる川でしたが、家庭や工場から出さ
れる水によってどんどん汚よごれ、大和川で遊ぶ子どもたちも少なくなっていました。でも、このご
ろは少しずつ川がきれいになっています。いろいろな種類しゅるいの魚や昆虫こんちゅう、鳥などがみられるようにな
りました。まったく見られなくなっていたアユももどってきました。

これからの大和川

少しずつきれいになってきた大和川ですが、わたしたちが川をきれいにしようという気持ちをわ
すれてしまうと、また、もとのきたない川にもどってしまいま
す。もっときれいな川になって、もっとたくさんの魚がいて、
みんなが楽しめるような川になってほしいと思います。これか
らの大和川はどうなっていくのでしょうか。大和川釣り人クラ
ブの方々の写真かたがたを見ながら、あなたも考えてみましょう。

☆今回の展示こんかいに際して、中九兵衛氏なかくへえ、松永白州記念館まつながはくしゅうきねんかん、大和川釣り人クラブの方々のご協力をいた
だきました。

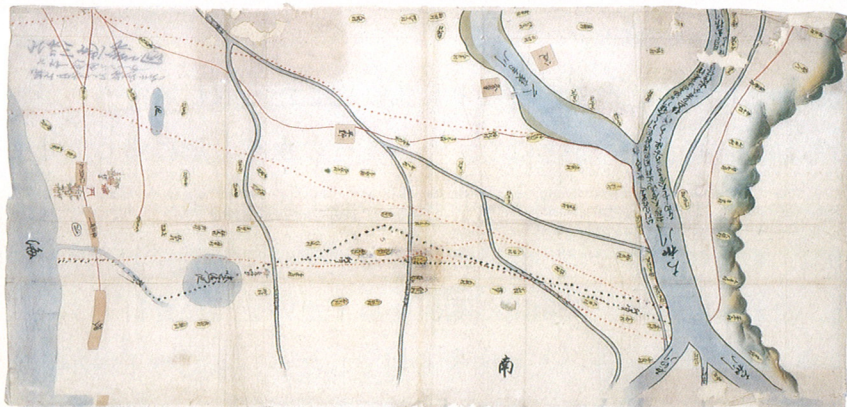


アユ



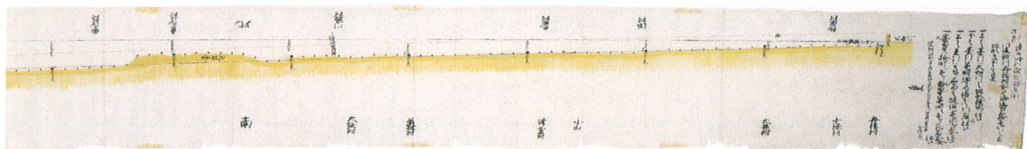
つみきれしよ ふ せん ず
堤切所付箋図 (N-100601)

貞享4年 (1687) に出された『堤切所之覚』には、それまでの50年間におこった洪水が記録されている。これに付けられていた絵図。洪水で堤が切れたところに付箋が貼られていて、洪水によって付箋の色を変えている。これを見ると、延宝2年 (1674) 以降、大きな洪水が玉櫛川筋でくりかえしおこっていたことがわかる。



しんかわ けいかくかわすじ
新川と計画川筋 (N-100602)

計画された新大和川の川筋をすべて記入した絵図。かつて検討された4本の川筋を赤の点線で、最後まで検討されていた2本の川筋を黒の点線で記入している。結局、黒の点線の下の新川につけかえられた。



ちけいこうげ
地形高下の図 (N-100603)

つけかえ地点から海までの14.3 kmの間の高さの測量図。黄色い部分は、つけかえ前の地形。それを横切る直線が新大和川の川底の高さ。ほとんど川底を掘り下げていないことがよくわかる。